

漁海況情報

平成26年9月18日 第12号(通巻549号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【ウルメイワシの漁況予報】

ウルメイワシの漁況について、現在当センターが入手している情報から今期の予測を行いましたので参考にしてください。

【今後の見通し】

漁獲量 : 前年を上回る (湊市場、本年予測漁獲量 : 680t、前年 (2013 年) 漁獲量 : 371 トン)

漁期 : 小・中羽 (全長 15cm 以下) : ~ 9 月

大羽 (全長 15cm 以上) : 9、10 月

【予測の根拠】

1. 漁獲量の長期変動傾向

1) 湊市場の漁獲量

浮敷網 (棒受網、すくい網) による漁獲量の推移は、1989 年をピークに、それ以降減少傾向にある。銘柄は 1989 年までは小・中羽が主体だったが、1990 年を境に大羽の割合が増加している (図 1)。例年、7~8 月から小・中羽が漁獲されはじめ、9 月から大羽が混じるようになる。

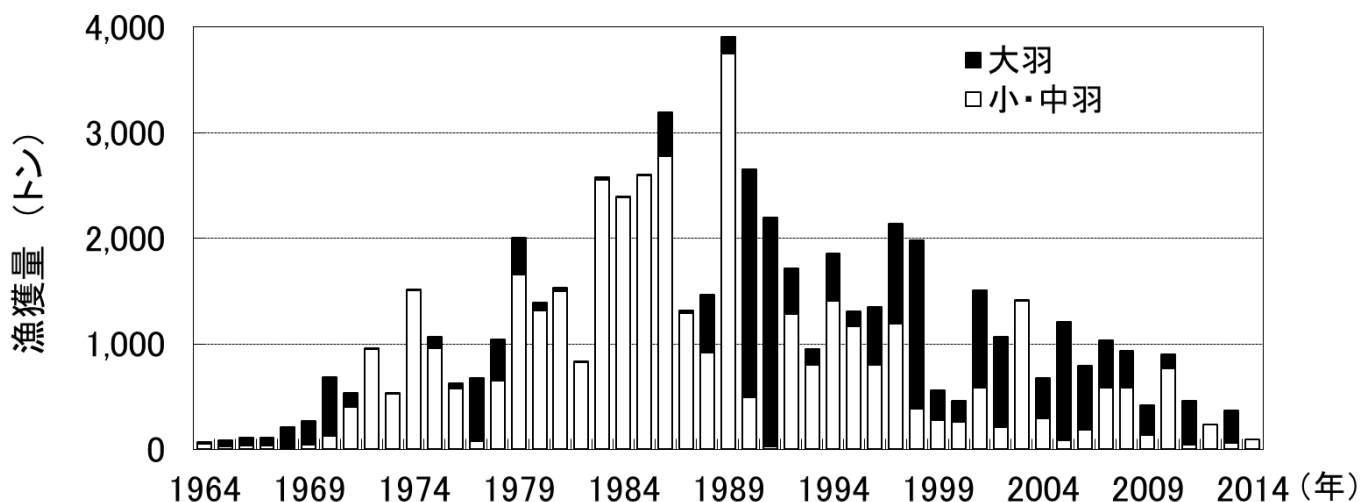


図1 山口県漁協湊市場のウルメイワシ銘柄別漁獲量の推移 (1964-2014 年)

(※2014 年の漁獲量は 8 月末までのもの)

2) 初漁期漁獲量と年間漁獲量

湊市場の初漁期（7～8月）漁獲量と年間漁獲量との間には正の相関がみられる（図2）。今年7～8月の漁獲量は97トンと前年よりも多かったため、年間漁獲量も前年よりも多いと予想される。

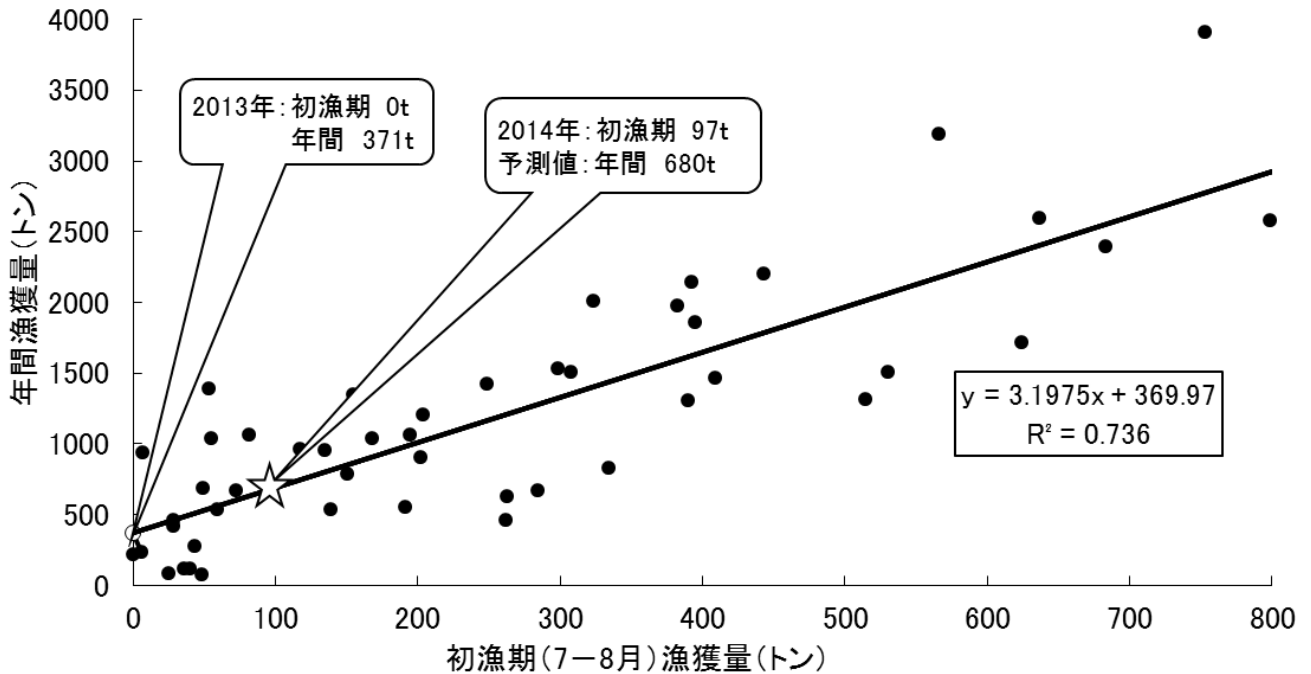


図2 山口県漁協湊市場のウルメイワシ初漁期漁獲量と年間漁獲量の関係（1964-2014年）

2. 本年の漁獲量の動向

1) 湊市場の浮敷網による漁獲動向（今年8月末まで）

前年は8月の漁獲が全くなかったが、本年は例年どおり、7～8月に小・中羽がまとまって漁獲された。

2) 西部他県の漁獲動向

長崎県北松南部海域で操業する中・小型まき網の4～8月の漁獲量は、小羽主体に1444トン（前年同期比119%、平年（過去5年平均）：737トン）同期比196%）であった（長崎県総合水産試験場発行・漁海況週報より集計）。

3. 今後の見通し

前年よりも初漁期の漁獲量が多く、長崎県でも前年以上の漁獲があることから、今後來遊量が増加し、漁獲量は前年を上回ると考えられる。